

2025年度 学校経営計画

1 学校教育目標

優れた知性、専門的な知識・技能、豊かな人間性、強くたくましい気力・体力を培い、自ら人生を切り拓く創造性と実践力のある人間を育成する。

2 学校の特徴

- (1) 大正5年(1916年)に東岩瀬町立東岩瀬実業補習学校として創設され、今年度は109年目を迎え、2万人余りの同窓生を有する、富山北部地域の伝統校である。
- (2) 2020年度から水橋高校との再編統合により新たな高校として開校し、普通科、くすり・バイオ科(工業科)、情報デザイン科(商業科)に加えて普通科に体育コースが設置され、一層の特色ある3学科からなる総合制高校となった。特に、地域の伝統産業と結びついたくすり・バイオ科、情報デザイン科は、それぞれ全国でも数少ない薬業系、商業デザイン系の学科である。
- (3) 師弟同行を合い言葉に、学習のみならず、部活動、諸行事の活性化に教師と生徒が一体となって取り組み、「知・徳・体の均衡のとれた人間教育」の充実を図っている。特に、登校時の挨拶・服装指導、授業と家庭学習の充実、部活動、資格取得に力を入れており、本校の大きな特色となっている。

3 学校の現状と課題

生徒の多くは、学習や部活動に真面目に取り組んでおり、生活力の向上を基底に据えつつ、「一人ひとりの生徒に自信と誇り」を持たせる本校の教育に対し、家庭や地域はもとより、企業からも厚い信頼を得ている。

しかし、一部に低い学習意欲、不適応行動、希薄な規範意識や進路意識などの問題や家庭の教育力に不安がある生徒も見受けられる。また、水橋高校との高校再編統合により、入学してくる生徒の学力の向上が見受けられるが、それらの生徒をさらに伸ばす進路指導の構築が必要である。さらには普通科、普通科体育コース、くすり・バイオ科、情報デザイン科の4つの学科・コースの強みや特色を生かし、学科の枠を超えた総合選択、課題研究や総合的な探究の時間などの充実を通して、さらに魅力ある学校づくりを進めることなどの改善が求められる。

このため、今年度は次の6つを重点課題として取り組む。

- (1) 基礎・基本の定着を図るとともに、生徒の興味・関心や理解度の把握に努め、実態に応じた指導を通して確かな学力を身に付けさせる。
- (2) 基本的生活習慣の確立とともに、社会的なライフスキル(心の能力)の育成を図る。
- (3) 自己実現に向けた進路意識の向上とキャリア教育の充実及び学力の伸長を図る。
- (4) 部活動や社会活動への積極的な参加及び主体的な読書活動の充実を図る。
- (5) 育友会(PTA)や地域社会、企業等との連携・協働を深め、地域社会から愛され、地域社会に貢献できる人材の育成を図る。
- (6) 3学科・1コース合同の総合的な探究の時間・課題研究の発表会を実施し、相互理解、相互啓発を促し、プロジェクト型学習の充実を図る。